

オフセット印刷用濃縮湿し水

FS-605

FS-605は、UV印刷における水幅の広さと印刷濃度安定性に優れ、インキの過乳化を抑え紙からフィルムのような非吸収原反までの多岐な素材で安定した印刷を可能にするものです。

■ 特徴

- ▶ 水膜保護性に優れておりますので、印刷時の湿し水量を最小限に絞れます。特にUVインキを使用する際の印刷トラブルを最小限に抑えます。
- ▶ 水幅を広く設定しておりますので、フィルムなどの非吸収原反に対して、安定した印刷をする事が可能となります。
- ▶ 油性インキ使用の枚葉印刷にも使用できます。
- ▶ 非画線部の不感脂化が良好のため、網点の再現性に優れております。
- ▶ 有機則に該当する化学物質は使用しておりません。

■ 使用方法

- ▶ 印刷に最適な濃度は1～3%です。
- ▶ ノンアルコールで使用される場合には2%の濃度を目安としてご使用ください。
- ▶ FS-605の濃度管理には定量添加法による管理をお勧めいたしますが、pH管理法による濃度管理も可能です。pHによる管理を行うときは、下記の物性値をご参考下さい。(各地区で水道水の物性値が異なります。pHによる濃度管理を行われる際には弊社技術まで一度ご相談下さい。)

<FS-605の物性値>

	1%水道水希釈液	2%水道水希釈液	3%水道水希釈液
pH	4.5～5.0	4.0～4.6	3.8～4.2
導電率(mS/cm)	0.55～0.75	0.90～1.10	1.15～1.35

■ 使用上の注意

- ▶ 現在使用されているH液とFS-605を混合すると、十分な効果が得られません。
- ▶ 現在使用されているH液と、水上がり量が異なる場合がありますので、はじめに最低印刷給水量を確認してから、印刷を開始してください。

■ 取扱上の注意

- ▶ 引火性の製品ですので、高温、スパーク、火気を避けてください。
- ▶ 皮膚に触れた場合は、速やかに石鹼と水、または温水で洗い流してください。
- ▶ 目に入った場合は直ちに多量の水で約15分間洗眼し、速やかに医師の診断を受けてください。
- ▶ FS-605は、消防法の第四類第三石油類、水溶性液体、危険等級Ⅲに該当します。

更新日:2022/02/04

- ▶ 記載のデータは、当社の試験方法による実測値であり、規格値ではありません。ご使用に際しては、貴社使用条件に適合するかを必ずご確認ください。なお、本文中の用途はいかなる特許に抵触しないことを保証するものではありません。
- ▶ 製品改良のため、予告なく内容を変更することがあります。
- ▶ 製品使用の際は、必ず事前に安全データシート(SDS)をご一読願います。